城陽市水道事業及び下水道事業
における包括的民間委託事業
提案審査基準

令和6年11月
城陽市上下水道部

目 次

第1章 審査の概要	1
1 提案書審査基準の位置付け	1
2 基本的な考え方	1
3 審査会による評価	1
4 優先交渉事業者の選定	1
第2章 提案審査	2
1 提案審査の内容	2
(1) 提案審査（評価項目、評価の内容、配点）	2
(2) 算定の方法	4

第1章 審査の概要

1 提案書審査基準の位置付け

本基準は、城陽市公営企業（以下「市」という。）が城陽市水道事業及び下水道事業における包括的民間委託事業（以下「本事業」という。）の優先交渉事業者を選定するにあたっての手順、方法、評価基準を示したものである。

2 基本的な考え方

優先交渉事業者の選定は、公募型プロポーザル方式により実施し、本事業の目的に最も合致した運営・維持管理能力等を有する企業を選定する。

本事業の実施にあたっては、受託事業者が城陽市の水道事業及び下水道事業を安全かつ安定的に継続していくことが最も重要であることから、審査においては、業務提案の評価に重きをおき、かつ価格提案にも配慮した上で総合的に評価する。

3 審査会による評価

市は、公平性、競争性及び透明性を確保した上で、幅広い専門的知見からの意見を取入れるために、城陽市水道事業及び下水道事業における包括的民間委託優先交渉事業者選定審査会（以下「審査会」という。）において評価する。

4 優先交渉事業者の選定

優先交渉事業者は、第2章提案審査の結果を踏まえ、市が参加企業の中から最も総合評価点の高い者を選定する。

なお、総合評価点が高い者が2以上ある場合は、価格提案額の低い者を優先交渉事業者として選定する。

第2章 提案審査

1 提案審査の内容（案。変更ある場合は、参加資格確認審査結果の通知までに、ホームページで公表する。）

(1) 提案審査（評価項目、評価の内容、配点）

評価項目	評価の内容	配点
1. 事業の実施方針・実施体制に係る評価		60点
(1) 事業の実施方針	・市の事業目的（各ビジョンの内容含む）と実施計画との整合	4点
(2) 事業の実施体制	・業務運営上の組織体制、人員配置、役割分担、労働安全衛生の計画 ・平日、休日、夜間及び緊急時の人員対応計画（・緊急時の駆けつけ体制 ・各部門の責任者等の具体的な配置） ・配置予定者の経歴（資格内容、実務経験（実務内容と年数））	56点
2. モニタリングに係る評価		28点
(1) モニタリング実施計画	・要求水準書添付資料1のモニタリングの基本方針に基づく提案 ・市が実施するモニタリングに対する提案	28点
3. 水道施設関連業務に係る評価		92点
(1) 水量管理業務	・取水量、受水量及び送水量の管理に対する提案	8点
(2) 浄水施設等運転管理業務	・運転管理実施計画 （・運転管理方針 ・各配水区毎の水運用や各配水区間の水融通 ・水量、水圧の管理 ・薬剤注入等による水質管理 ・薬品調達及び管理 ・運転管理に関するリスク想定 ・排水検査 ・水質検査補助など）	44点
(2)-1 浄水施設等運転管理業務に係る異常時の対応	・運転管理上の異常時対応計画	8点
(3) 浄水施設等維持管理業務	・設備維持管理実施計画 （・計画点検 ・巡回点検 ・点検結果に基づく維持管理 ・維持管理に関するリスク想定など）	24点
(3)-1 浄水施設等維持管理業務に係る異常時の対応	・維持管理上の異常時対応計画	8点
4. 下水道施設関連業務に係る評価		24点
(1) 下水道施設維持管理業務	・施設維持管理実施計画 （・法定保守点検 ・マンホールポンプ及び管路の詰まり等維持管理 ・維持管理に関するリスク想定など）	20点
(1)-1 下水道施設維持管理業務に係る異常時の対応	・維持管理上の異常時対応計画	4点

5. 運營業務に係る評価		64点
(1) 窓口・料金関係業務	・窓口・料金関係業務実施計画 (・使用者への適切な対応 ・公金の管理、取り扱い ・未収金回収率向上など)	20点
(2) 給水装置業務	・給水装置業務実施計画 (・受付 ・審査 ・立会 ・検査 ・事業者の指定補助 ・各種相談、問合せ対応など)	16点
(3) 排水設備業務	・排水設備業務実施計画 (・受付 ・審査 ・立会 ・検査 ・事業者の指定補助 ・各種相談、問合せ対応など)	16点
(4) 時間外受付業務	・時間外受付業務に関する計画	12点
6. 水道施設整備実施計画更新原案作成業務に係る評価		12点
(1) 水道施設整備実施計画更新原案の作成	・施設整備実施計画更新原案作成に係る提案	12点
7. 下水道施設更新計画原案作成業務に係る評価		16点
(1) 下水道施設更新計画原案の作成	・下水道施設更新計画原案作成に係る提案 (・調査計画 ・修繕、改築計画案の作成など)	16点
8. 危機管理業務に係る評価		12点
(1) 危機管理業務 (大規模災害)	・危機管理に関する計画 (・災害に応じた対応策 ・応急給水 ・人材の確保 ・ 関係機関との連携 ・資機材の調達など)	12点
9. その他業務に係る評価		32点
(1) 地域への貢献	・地元人材の活用に係る提案 ・地元企業の活用に係る提案	8点
(2) 研修方針	・業務分類毎の能力向上や資格取得のための研修 (人材教育) に関する計画	12点
(3) 業務引継	・受託期間中における市とのノウハウの共有計画 ・業務期間終了時の次期受託者への技術継承を含めた引継計画	8点
(4) 城陽市上下水道事業標準業務フロー修正業務	・城陽市上下水道事業標準業務フロー修正業務に係る提案	4点
業務提案評価点計		340点
10. 価格提案評価点	・見積限度額×0.9以下→満点、見積限度額×1.0→0点 の比例配分、見積限度額超え→失格	60点
総合評価点		400点

(2) 算定の方法

① 業務提案評価点の算定方法

業務提案について、審査会委員が、(1) の評価項目及び評価内容に関し専門的見地から評価を行う。市は各審査会委員の評価に基づき、各審査項目の評価点を配点以内で付与し、その合計点を業務提案評価点とする。

② 価格提案評価点の算定方法

価格提案の評価は、見積上限額の90%に相当する提案を60点、見積上限額と同額の提案を0点として、それらの間の価格提案については直線補間により評価し、「価格提案評価点」とする。また、見積上限額の90%を下回る提案があった場合においても、価格提案評価点は60点を上限とする。なお、価格提案評価点は、小数点第1位を四捨五入する。

価格提案評価点の計算式は以下のとおりとする。

$$\text{「価格提案評価点」} = 60 \times \frac{(\text{見積上限額} - \text{価格提案額})}{(\text{見積上限額} - \text{見積上限額の}90\%)}$$

③ 総合評価点の算定方法

以下により、総合評価点を算出する。

$$\begin{array}{lcl} \text{「総合評価点」} & = & \text{「業務提案評価点」} + \text{「価格提案評価点」} \\ \text{満点} = 400 \text{点} & = & 340 \text{点} (\text{※1}) + 60 \text{点} (\text{※2}) \end{array}$$

※1 業務提案評価点の合計が170点未満の場合は、失格とする。

※2 見積上限額を超えた提案は、0点ではなく失格とする。